

| <div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準 | 東京書籍（新しい社会 歴史） |
|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「用語解説」や「スキル・アップ」などを設けて、歴史学習に必要な基礎的な知識及び技能を習得できるよう配慮されている。 ・ 課題解決的な学習の流れと見方・考え方を活用して取り組む活動で、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。 ・ 現代的な諸課題に興味をもち、持続可能な社会の形成に主体的に参画する態度を養えるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページで1つの内容構成になっており、1時間を基本的に学習が可能で、柔軟な指導計画を作成できるよう工夫されている。 (2) 「資料から発見」のコーナーを設定し、絵画資料から歴史に対する興味・関心を喚起し、生徒が日本の伝統や文化に誇りがもてるよう工夫されている。 (3) 「探究課題」を立てる導入の活動で単元全体の学習の見通しをもち、「みんなでチャレンジ」コーナーで対話的な学習の場面を設定することで対話的に学べるよう工夫されている。 (4) 「見方・考え方」マークを付けて視点と方法を示したり、「まとめの活動」で様々な思考ツールを使ったりして、社会的な見方・考え方を働かせて考察やまとめができるよう配慮されている。 (5) 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したり、本文と資料掲載部分の地色を色分けしたりして、見やすくなるよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の導入部分で小学校の学習内容や用語を振り返る活動を設けて、中学校の学習へつなげるよう配慮されている。 (2) 各単元を「探究課題」「学習課題」「探究のステップ」の3段階の問いで構成し、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 (3) 「学習課題」や「探究のステップ」に社会的な見方・考え方を反映させ、推移、相互の関連などの着目点を明示することで、生徒が見方・考え方を意識して学習を進められるよう配慮されている。 (4) 「もっと歴史」のページでは防災、持続可能な社会の実現に向けて考えるページでSDGsを取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を育成できるよう配慮されている。 (5) 絵巻物などをカラーで掲載したり、資料を実物大で掲載したりして、視覚的資料から歴史に興味をもてるよう工夫されている。 (6) 各単元の最後に「まとめの活動」を設定し、思考ツールを使って学習内容を整理しながら、各時代を大観し、時代の特色を捉えられるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いを軸とした単元構成で、社会的な見方・考え方を働かせて、主体的に課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ・ 小中の系統性、地理・公民や他教科との関連性が考慮された構成により、学びが深まるよう工夫されている。 |

種目（社会）

| <p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p style="text-align: center;">教育出版（中学 社会 歴史未来をひらく）</p> |
|---|--|
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 図表の読み方や活用例などの資料について、活用方法を具体的に示しながら知識及び技能の習得がなされるよう配慮されている。 ・ 学習のまとめとして、自分の言葉で表現する活動を取り入れ、言語活動が充実するよう配慮されている。 ・ 社会的事象に興味・関心をもち、資料を読み解く活動から章や節が始まり、生徒が主体的に学べるよう配慮されている。 |
| <p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページで資料→学習課題→本文→追究という展開により、見通しをもって学習が進められるよう工夫されている。 (2) 「世界の動き」を章や節の前半に配置し、「日本の動き」との関連を示して、興味・関心を喚起しながら学習が深まっていくよう工夫されている。 (3) 各章のまとめでは、「学習のまとめと表現」のコーナーを設け、年表を中心に自分でまとめたり、社会的事象について説明したりすることができるよう工夫されている。 (4) 社会的事象への視点を変えて学習内容をとらえなおす特設ページを設け、新たな気付きや後世への影響や関連などを考えることができるよう配慮されている。 (5) 文字を強調し、図表を識別しやすくする配色を使用することで、文字の読み取りづらさや図表の分かりづらさを軽減するよう工夫されている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 小学校で学習した知識を基に時代の特色が分かる序章を設け、歴史の流れをつかみながら学習が進むよう配慮されている。 (2) 本時の学習の確認や表現活動が次時の学習問題と連動しており、1時間ごとの学習が連続していくよう工夫されている。 (3) 「歴史の技」コーナーを設け、社会的事象の比較や推移などの社会的な見方・考え方を働かせながら、特色や関連、意味を多角的に考えることができるよう配慮されている。 (4) 持続可能な社会を目指し、自分と歴史との関係について考えることができるコラムを設け、主権者意識と社会参画の意識が高められるよう配慮されている。 (5) どのページにも、年表スケールが示されており、どの時代を学習しているのかをいつでも確認できるよう工夫されている。 (6) 学習のまとめでは、「確認」と「表現」の2項目を設け、1時間ごとに知識・技能の習得度合を評価し、生徒が自分の言葉で表現することができるよう工夫されている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 章や節ごとに学習の見通しがもてる場面や時代の特色をまとめるページを設け、理解が深まっていくよう工夫されている。 ・ 社会3分野の関連や防災およびSDGsの観点を取り入れ、学習が深まるよう配慮されている。 |

種目（社会）

| 発行者名 採択基準 | 学び舎（ともに学ぶ人間の歴史） |
|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各章にまとめのページを設け、地図や年表を活用して基本的な知識の定着を図ることができるよう配慮されている。 ・ 各部の終わりには、前の時代と比較ができる振り返りのページを設け、時代の特色を考えることができるよう配慮されている。 ・ 現代的な諸課題を扱い、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養えるよう配慮されている。 |
| 2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページを授業1時間として配列し、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 (2) 指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野・階層の人々について取り上げ、興味・関心を高めながら、学習できるよう工夫されている。 (3) 見開き2ページの左上に大きな図版と学習課題を示し、課題意識をもって、主体的に課題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 (4) 社会的事象の差異や因果関係に着目できる課題や問題を設定し、社会的な見方・考え方を働かせて、社会的事象の理解を深めることができるよう配慮されている。 (5) 地図やグラフには判別しやすい色を使用したり、A4判のサイズを採用し資料を大きく掲載したりして、情報が読み取りやすいよう配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 各章の冒頭には世界各地の写真を配置し、時代を概観して、通史の学習に取り組むことができるよう配慮されている。 (2) 章の冒頭に「章の扉」、終末に「章を振り返る」を設定し、生徒が課題意識をもって追究できるよう工夫されている。 (3) 各章や部のまとめでは、学習したことを深める課題を設定し、社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を関連させて考えることができるよう配慮されている。 (4) 震災や内戦など現代的な諸課題をテーマに取り上げ、歴史を現代的な諸課題と結び付けて学習し、よりよい社会の実現に向けて考えられるよう配慮されている。 (5) 年表のページに写真や表などの資料を掲載し、各時代の特色を比較・関連させながら整理できるよう工夫されている。 (6) 各部の最後に「学習のまとめ」のページを設定し、生徒自身の言葉で表現する問いを設け、時代の特色を捉えられるよう工夫されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史の中に生きる様々な階層の人々の姿を掲載し、多角的に社会的事象を理解できるよう工夫されている。 ・ 年表や地図を活用したまとめや、前の時代との違いを問うことにより、時代の特色を捉えることができるよう配慮されている。 |

種目（社会）

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p>帝国書院（中学 歴史 中学生の歴史）</p> |
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入資料から、学習課題、本文、学習の振り返りまで課題を追究しながら知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 ・ 対話的な学習を促すコラム、探究的な学習として特設ページを設け、生徒の思考力・判断力・表現力等が養えるよう配慮されている。 ・ 節の冒頭に各時代を概観するイラストがあり、小学校での学習と関連させながら、主体的に学べるよう配慮されている。 |
| <p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 中学生の発達段階を考慮して、解説や写真および図版の説明を設け、基礎的な知識の習得が図られるよう工夫されている。 (2) 時代の様子が描かれたイラスト「タイムトラベル」のコーナーを設け、興味・関心を高めながら、気付きや発見を生かして学習が進められるよう工夫されている。 (3) 主に見開き2ページで学習課題を設定し、資料提示から本文と追究資料を手がかりに、生徒が自ら課題に取り組めるよう工夫されている。 (4) 「歴史を探ろう」「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーでは、本文で学習した内容を具体的に深く考える場面を設定し、社会的な見方・考え方を働かせた学習ができるよう配慮されている。 (5) 本文では、誤読を防ぐためにふりがなをふり、読み取りやすい文字を採用し、読むことが苦手であっても読みやすいよう配慮されている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎・基本となる事柄を太字で記述し、各単元の終末では学んだことを振り返ることができるよう配慮されている。 (2) 各ページには小学校の学習事項・地理・公民との関連を示し、学習内容の相互の関連が分かるよう工夫されている。 (3) 文化史、地域史、各時代の様々な立場の意見を紹介し、相互に比較し、考えを深めたり現代への影響について考察したりすることができるよう配慮されている。 (4) 「未来にむけて」のコラムでは、環境・交流・人権・平和など今日的な課題を示す資料を取り上げ、持続可能な社会について考えることができるよう配慮されている。 (5) 動画資料が利用できるコンテンツを配置し、章ごとに重要な社会的事象について、生徒が学びを深められるよう工夫されている。 (6) 本時の目標「学習課題」に照らした「確認しよう」「説明しよう」という振り返りの活動を設け、学んだことを自分の言葉でまとめる学習が行いやすよう工夫されている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 時代の特色や様々な視点を資料として掲載し、多面的・多角的に歴史を捉えることができるよう工夫されている。 ・ 「タイムトラベル」のコーナーにおいて、時代の特色を表す人々の営みが捉えられるよう配慮されている。 |

種目（社会）

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p>山川出版社（中学 歴史 日本と世界）</p> |
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの資料を載せ、根拠に基づいた知識の獲得と資料読み取りの力の基礎を築けるよう配慮されている。 ・ 単元のまとめの活動を入れ、既習内容から思考・判断し自らの言葉で表現する力を養えるよう配慮されている。 ・ 歴史を大きな流れで分かりやすく捉えるために、時間軸を中心とした記述をし、自ら学ぶ生徒を育てるよう配慮されている。 |
| <p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 詳細な本文と資料で社会的事象を細かに記述し、中学以降の歴史学習へつながるよう工夫されている。 (2) 各章の途中に世界地図と人々の風俗や歴史的遺産を見開きで入れ、その時代の様子を視覚的に捉えることで関心・意欲を喚起し、展開できるよう工夫されている。 (3) 資料を読み解く視点を示し、用語解説も同一ページ内に記載し、本文を併せて読むことで課題をもち、主体的・対話的に学べるよう工夫されている。 (4) 巻頭に「身近な地域を調べよう」を設け、調査・見学活動を基にしたレポート作成と発表を通して、社会的な見方・考え方を働かせながら学べるよう配慮されている。 (5) 本文にユニバーサルデザインフォントを用い、地図やグラフを見分けやすい配色をすることで、読み取りやすくなるよう配慮されている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 時系列に重きを置いた単元配列であり、教科書を読むことで歴史的な事象が因果関係を基に理解できるよう配慮されている。 (2) 「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」を設け、既習事項を深めたり広げたりして、連続的に学べるよう工夫されている。 (3) 詳細な資料と多くの解説を基に、主体的に取り組み、見方・考え方を働かせながら資料を相互に関わり合わせ、社会的な事象の特色を多角的に考える力を養えるよう配慮されている。 (4) 日本史だけでなく世界史も本文で詳細に取り上げることで、その後の歴史や現代に見られる課題の原点にふれるよう配慮されている。 (5) 事実に基づいた叙述にするため、多くの資料を掲載し根拠に基づいた歴史学習の展開になるよう工夫されている。 (6) 章末に「まとめ」を設け、その時代の状況や立場から生徒の言葉で振り返ることで、まとめの観点が明確になるよう工夫されている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に基づいた歴史学習を重視し、資料から読み取った客観的事実を基に歴史を追究する生徒が育つよう配慮されている。 ・ 高校歴史学習との系統性を重視し同社高校教科書と単元配列を同じにしたり同じ資料を用いたりするよう工夫されている。 |

種目（社会）

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p>日本文教出版（中学社会 歴史的分野）</p> |
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 因果関係について資料と本文を関連付けて記述し、事実から読み解く技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ まとめを自分の言葉で説明するページや活動を入れ、生徒の思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮されている。 ・ 文章量が増えすぎないように資料や解説を適宜入れ、歴史全体を俯瞰し、生徒が自ら学べるよう配慮されている。 |
| <p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業1時間に対し見開き2ページ構成で、平易な言葉を使い、理解が深まりやすくなるよう工夫されている。 (2) 小学校で学習した人物名を欄外に載せることで既習内容とのつながりを想起し、学習意欲を喚起して学びが深まるよう工夫されている。 (3) 章扉で世界地図と年表を載せて、視覚的に捉えて時代の流れを概観することを通して課題が明確となり、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。 (4) 「チャレンジ歴史」を設けて既習内容を生かし、新聞記事や写真、解説にふれながら社会的な見方・考え方を働かせ、まとめを自らの言葉で表現できるよう配慮されている。 (5) グラフに細かい仕切り線を入れたり、鮮やかな色や原寸大の大きさを示したりすることで、資料が読み取りやすくなるよう配慮されている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本的な歴史的事象を原因・経過・結果・影響のように関連性をもたせることで、因果関係を意識して学べるよう配慮されている。 (2) 前ページの「確認」でまとめられた点が次のページの内容と連続しており、必然性と流れが捉えられるよう工夫されている。 (3) 学習課題に対して手がかりとなる「比較」「推移」等の社会的な見方・考え方を示し学習することで、事象の特色を捉えることができるよう配慮されている。 (4) 民主政治の起源と発展、我が国への伝播などを資料とともに本文で詳しく説明し、先人の取組と経過や現代の様子を示して、主権者教育に取り組めるよう配慮されている。 (5) 本文と絵図や解説を番号によって示し、本文と関連付けながら学習を進めることができるよう工夫されている。 (6) 毎時間「確認」を示し、各時代の終わりには「学習の整理と活用」を設け、まとめを行う際の評価の観点が明確になるよう工夫されている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平易な本文とそれを裏付ける適切な量と配置の資料や解説により、資料に基づいた歴史学習ができるよう配慮されている。 ・ 世界と日本の結びつきを意識して様々な出来事や資料を載せ、世界と関わり存在する日本を学べるよう配慮されている。 |

種目（社会）

| | |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p>育鵬社（最新 新しい日本の歴史）</p> |
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本と同年代の世界の動きをまとめ、世界の歴史を背景に日本の歴史を理解することができるよう配慮されている。 ・ 学習のまとめとして、自分の言葉で表現する活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力等が育成できるよう配慮されている。 ・ 課題意識をもつことができる導入資料を掲載し、課題を主体的に解決しようとする態度を養うことができるよう配慮されている。 |
| <p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習課題を明確にして1時間の授業を構成し、学習内容について理解を深めることができるよう工夫されている。 (2) 各章に『私の歴史博物館』をデザインしてみよう』のページを設定し、各時代の展示物や解説文を考えることで、時代の特色を捉えることができるよう工夫されている。 (3) 生徒が課題意識をもつことができる導入資料と学習課題、それに対する解説と資料を掲載し、主体的な学習ができるよう工夫されている。 (4) 「学習のまとめ」を設け、社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味や事象間のつながりや影響などを説明する学習ができるよう配慮されている。 (5) 資料は色覚特性をふまえて、明るく判別しやすい色を使用したり、資料を部分的に拡大したりし、読み取りやすいよう配慮されている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 序章に小学校の学習を振り返る「歴史探検」を設け、中学校の学習へのスムーズな接続ができるよう配慮されている。 (2) 各章の冒頭には「〇〇の世界へようこそ！」を設け、時代の大きな流れを念頭に置いた学習ができるよう工夫されている。 (3) キャラクターによるコメントにより資料の着眼点を示し、差異や社会的事象同士の因果関係に着目して、社会的な見方・考え方を働かせて追究できるよう配慮されている。 (4) 「震災の日本」のページを設け、近年の自然災害について学ぶとともに、防災に対する先人の取り組みをふまえ、災害に強い社会について考えることができるよう配慮されている。 (5) 「歴史絵巻」のページは、イラストを用い、小学校の学習を想起して学習に取り組めるよう工夫されている。 (6) 各章の「学習のまとめ」では、言語活動を重視し、単元での学びを振り返り、時代の特色を捉え、思考力・判断力・表現力等が高まるよう工夫されている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題意識をもつことができる導入資料と資料の着眼点を示すコメントを掲載し、主体的な学習ができるよう工夫されている。 ・ 単元のまとめを設け、単元での学びを生かして時代の特色を考え、表現する力を育むことができるよう配慮されている。 |